

# しろいし

shiroishi city council paper

# 市議会だより

2021年  
夏  
第202号

旧斎川小学校体育館での伝統食「笹巻きづくり」  
(白石第二小学校放課後子ども教室)



2～3P 6月定例会の概要・審議した議案

5～9P 市政に対する一般質問(9名)

3～4P 予算審査特別委員会

10P 4月の臨時会・人事・編集後記

4P 特別委員会報告

# 6月定例会 一般会計補正予算など12議案を可決

令和3年6月定例会は、6月7日から6月22日までの16日間の日程で開催されました。市長提出議案は、専決3件、条例6件、予算2件の計11件でした。定例会初日、全ての議案の提案理由の説明がなされ、このうち第46号議案から第48号議案までの3議案は質疑の後、採決の結果、全会一致で承認しました。同日、議会運営委員会委員長より、議員提出議案である議提第2号が上程され、提案理由の説明を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。2日目、第49号議案から第56号議案までの質疑が行われ、予算の2議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、6月17日と6月18日の2日間で、9名の議員が質問を行いました。定例会最終日（6月22日）の本会議において、予算審査特別委員会委員長の報告を行なった後、採決の結果、第55号議案および第56号議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。また最終日に、市長提出議案1件（第57号議案）が追加提案され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

## 条例等

◎新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による白石市国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症の影響により、前年と比較して収入が減少した国民健康保

◎白石市手数料条例の一部を改正する条例

除税の納税義務者および介護保険料の納付義務者に対し、令和3年度においても減免措置を延長するため、条例の一部を改正するものです。

デジタル社会形成関係整備法の施行に伴い、個人番号カード（マイナンバーカード）の再交付手数料は地方公共団体情報システム機構（J-リ

議案番号	件名	審議結果
第46号	市長提案 専決処分の承認を求めるとして専決第11号（令和3年度白石市一般会計補正予算）	承認
第47号	専決処分の承認を求めるとして専決第12号（白石市学校事故等調査委員会設置条例）	承認
第48号	専決処分の承認を求めるとして専決第13号（令和3年度白石市一般会計補正予算）	承認
第49号	白石市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
第50号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市税の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第51号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第52号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による白石市国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第53号	白石市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
第54号	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第55号	令和3年度白石市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
第56号	令和3年度白石市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第57号	令和3年度白石市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
第2号	議員提案 白石市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決

※意見（賛否）が分かれた議案はありませんでした。

「S」が定めることになることから、条例の一部を改正するものです。

### 予 算

◎令和3年度白石市一般会計補正予算(第3号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億3千36万7千円追加し、予算総額を158億9千513万円とするものです。主な内容は次のとおりです。

○コミュニティ助成事業

710万円

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

3千890万円

○みやぎ路観光地整備事業

610万円

○レガシープロジェクト推進事業

1千91万6千円

○地域部活動推進事業

168万1千円

○グラウンドゴルフ場整備事業

4千353万9千円

### 議員提案

◎白石市議会会議規則の一部を改正する規則

女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する観点から、本会議や委員会への欠席事由として、育児、看護、介護などを明文化するとともに、出産について産前産後期間にも配慮した規定の整備を図るほか、行政手続きなどにおける押印廃止の政府の政策動向を踏まえ、請願における条文を整理するため、規則の一部を改正するものです。



### 予算審査特別委員会

第55号議案・令和3年度白石市一般会計補正予算(第3号)および第56号議案・令和3年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)の計2議案について、定例会2日目(6月10日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・佐藤秀行、副委員長・保科善一郎)は、6月11日に審査を行い、全ての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和3年度白石市一般会計補正予算(第3号)

#### 民生費

〔質疑〕総合福祉センター屋根土撤去処分委託料に182万6千円を計上しているが、内容について伺う。

〔答弁〕総合福祉センターの屋根は、山と周りの景色との調和から土で覆われているが、竣工から20年以上が経過し、雨漏りが発生している。

浸透筒所の特定を容易に行う

#### 商工費

ため、土の撤去を行なった上で修繕を行うとするものである。

〔質疑〕みやぎ路観光地整備工事については、県の補助金を活用し、小原温泉街の駐車場内公衆トイレ設備の改修を行うとのことだが、かつらの湯の利用者数について伺う。

〔答弁〕令和2年度の利用者は1万1千679人であり、平成16年のオープン以降、毎年約1万2千人の利用をいただいている。

浸透筒所の特定を容易に行う

### 教育費

〔質疑〕レガシープロジェクト推進事業の内容を伺う。

〔答弁〕白石市文化財愛護友の会、文化財保護委員会、観光協会、文化体育振興財団を構成員とする白石市レガシープロジェクト実行委員会が、文化庁の補助事業の採択を受け、令和3年度から令和7年度にかけて、文化遺産の継承や活用を図り、地域の愛着や誇りを醸成する事業に取り組むことから、補助金を計上するものである。

令和3年度は、まちあるきガイド養成事業、映像や画像による無形文化遺産記録化事業に取り組む予定である。

〔質疑〕無形文化遺産記録化事業で作成記録した映像や画像の活用について伺う。

〔答弁〕映像については、旧小関家茅屋根葺替および小原の百矢納めの映像記録化を、画像については、和紙関連の製品や製作に関わる資料を記録する計画である。

令和3年度に制作を行い、令和4年度以降は普及啓発事業として、記録を活用したイベントや体験ワークショップも実施していきたいと考えている。

**〔質疑〕**地域部活動推進事業の内容について伺う。

**〔答弁〕**持続可能な部活動と教員の負担軽減のための実践研究を目的に、事業者への委託により、地域や外部団体などの指導者を東中学校へ派遣し、令和5年度の休日部活動の段階的な地域移行に向けた問題点を検証し、課題解決を図ろうとするものである。

事業者との委託契約締結後、指導者の募集・研修や東中学校の保護者への説明会などを実施し、8月以降、指導者を配置していく計画である。

**〔質疑〕**グラウンドゴルフ場整備事業についての経緯を伺う。

**〔答弁〕**宮城県の障害者支援施設不忘園の移転に伴う跡地の利用について、県と交渉を重ねた結果、スポーツ関係の施設であれば無償譲与となったこと、また、地元の大鷹沢地区からも

健康増進と地域交流のためのスポーツ施設の整備の要望を受けたことから、グラウンドゴルフ場を整備するものである。

**〔質疑〕**本市のグラウンドゴルフの競技人口はどのくらいか。

**〔答弁〕**市内のグラウンドゴルフ協会の会員は現在約70名で活動が盛んであり、また、老人クラブ会員をはじめ、市内には相当数の愛好者がいるものと把握している。

また、市主催の健康いきいきエンジョイ教室でのグラウンドゴルフにも約50名の参加があることから、手軽で親しみやすい生涯スポーツの一つとして、普及啓発に努めているところである。

**スマートインターチェンジ設置推進特別委員会中間報告**

定例会初日(6月7日)、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の調査活動経過について、四電英夫委員長より中間報告がなされました。報告の概要については、次のとおりです。

令和3年5月28日に関係部課長の出席を得て、これまでの進捗状況の報告と周辺整備計画の説明を受け、今後の進め方について協議を行なった。

はじめに進捗状況については、昨年11月に仙台河川国道事務所長から市長へ連結許可書の伝達後、本年3月に東日本高速道路株式会社と整備事業の実施に関する協定、4月に令和3年度契約を締結。

この協定と契約に基づき、東日本高速道路株式会社は4月20日に土質調査業務契約を締結、本市は5月13日測量業務委託契約を締結し、4月11日に測量業務エリアの地権者に測量業務に関して事前説明を行なった旨の報告があった。

次に、周辺整備計画については、昨年12月に商工会議所、観光協会、まちづくり協議会、農業協同組合などで構成する「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺整備活性化検討委員会」を設置し、5月14日までに4回の検討委員会を開催。「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺整備基本計画(案)」を取りまとめ、5月27日に検討委員会委員長から市長へ「周辺整備基本計画(案)」が答申された旨報告があった。

計画(案)では、全体テーマを「地域全体で賑わいを創出し、しろいしの未来をデザインする『新たな交流拠点』をめざし」と設定し、スマートインターチェンジ周辺に、防災機能を備えた道の駅やパークゴルフ場、工業団地などを整備するとしている。

周辺施設を含む事業区域面積は約45ヘクタールで、概算事業費は101億円を見込み、工業・物流団地が約26ヘクタール、パークゴルフ場約10ヘクタール、道の駅約3.3ヘクタールを整備。

スマートインターチェンジは、令和7年度内の利用開始を目指しているが、周辺整備はPF可能性調査を実施する前提でスケジュールを想定。基本計画(案)のパブリックコメント実施後、基本計画を策定し、本年度内に各種調査を進め、令和4年度以降に基本実施設計をまとめ、工事は令和6年度着手を

目指し、スマートインターチェンジの利用開始に合わせる完成させたい考えである旨説明があった。

説明後、パブリックコメントについて、会場を含め、どのような規模で行うことを想定されているのかとの委員の質疑に対し、広報しろいしや市ホームページを活用し、広く市民の皆さまからご意見をいただくことを想定しているとの当局の説明があった。

当局から進捗状況の報告と周辺整備計画の説明を受け、スマートインターチェンジの設置と周辺整備に関して、調査や計画策定、関係機関との協議が着々と進んでいるものとの共通認識を持ち、本特別委員会としても市勢発展のため、スマートインターチェンジの早期完成と周辺整備のさらなる充実を目指し、引き続き当局との情報共有、意見交換を行うなど、継続した委員会調査活動により、地元住民・関係機関との調整を行なっていくことを確認したところである。

# 市政に 対する 一般質問

## 〳〳〳9名の議員が質問〳〳〳

6月定例会の一般質問は、6月17日・18日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

**高子 秀明** 消防団の処遇改善について 他

**大森 貴之** 生理の貧困に対する白石市の対策について 他

**高橋 鈍斎** 学校施設構築物の安全管理について 他

**四竈 英夫** 健康診査の受診率向上について 他

**佐藤 秀行** 学力向上マネジメント支援事業について 他

**佐久間儀郎** 災害ケースマネジメントについて 他

**角張 一郎** 工業団地造成と企業誘致について 他

**佐藤 龍彦** ヤングケアラーの支援について 他

**菊地 忠久** ふるさと納税について 他

### 消防団の処遇改善について

高子 秀明



**〔質問〕**現在の消防団の状況をどのように捉えているか、見解を伺う。

**〔答弁〕**〔市長〕火災時の現場対応にとどまらず、自然災害への対応、啓発活動など、地域防災の要として日夜尽力され、本市に必要不可欠な存在である。

地域防災力の充実強化、団員数の確保を含め、可能な限りの措置を今後も検討していきたいと考える。

**〔質問〕**総務省消防庁が処遇改善通知を出しているが、内容について伺う。

**〔答弁〕**〔危機管理課長〕団員の年額報酬について、3万6千500円を基準とすること、出勤手当

は1日7千円から8千円を標準とすること、報酬および手当支給方法について、直接団員個人に支給することなどについて伺う。

**〔質問〕**消防庁は、報酬基準について来年4月から適用するよう条例の見直しを要請したが、本市の対応を伺う。

**〔答弁〕**〔副市長〕本市では国の地方交付税算定基礎、算定基準を参考に、本市の実情と団員数を勘案して一般団員の年額報酬を定めているが、交付税算定基礎数値が実態と異なることから、見直しについては慎重に行なうていきたいと考える。

◎スパシユランド

しろいしについて

**〔質問〕**スパシユランドの不動産鑑定評価書において、土地・建物の積

算価格は4億8千200円だが、鑑定評価額は0円と決定された。市長の見解を伺う。

**〔答弁〕**〔市長〕今回の不動産鑑定は、土地・建物の価値の算出を目的としており、評価額の算出には市場性が大きく関連することから、多くの観点から分析いただいたものと考ええる。

**〔質問〕**建物・敷地の最有効使用について、不動産鑑定書での判断を伺う。

**〔答弁〕**〔市長〕現況とおりの利用形態とする場合と、取り壊しを行い、跡地を別形態とする場合の経済的合理性を比較し、市場取引の可能性の高さを分析したものであるが、結果は現況のとおり、屋内プールや保養所としての利用が比較優位と判断された。

〔その他質問〕

◎公用車での事故等について

### 生理の貧困に対する白石市の対策について

大森 貴之



〔質問〕「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用し難い環境にあることを指し、多くの国で問題になっている。

日本でも「生理の貧困」が潜在化していることが明らかになってきているが、この問題に対する認識について伺う。

〔答弁〕〔市長〕新型コロナウイルスウィルス感染症の影響もあり、経済的に困窮し、生理用品を購入するのに苦労している女性や、生理用品を買ってもらえない子どもが存在が社会問題となりつつあることは認識している。

〔質問〕女性の負担軽減の観点から、生理用品の用意が難しい方に提供を推進すべきと考えがいかかがか。

〔答弁〕〔市長〕経済的に困窮する女性などを対象とした支援として、生理用品を無料で配布するための予算を計上しており、適切に提供したいと考えている。

〔質問〕生理用品の配布場所や方法について伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕各小・中学校保健室、子育て世代包括支援センター、ふれあいプラザ、社会福祉協議会の窓口に設置し配布したいと考えている。

〔質問〕配布する際のプライバシーの配慮について伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕配布場所にはポスター

と提示カードを設置し、窓口で声を出さなくても受け取れるように配慮したい。

〔質問〕小・中学校では既に、保健室にて緊急時などの必要に応じ、提供している。

保護者にもそのような体制が整っていることを周知してはいいかか。

〔答弁〕〔教育長〕今後、保護者にも適切に情報を提供していきたいと考えている。

### ◎自己水源取水量の確保について

〔質問〕人口減少を食い止める上でも、十分な水の確保が保証されていることが、基本的なまちづくりにとっては不可欠である。

自己水源量の確保を強く要望するが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕自己水源での水利権・水量の変更や、施設整備についても今後、検討していく。

### 学校施設構築物の安全管理について

高橋 鈍齋



〔質問〕去る4月27日、白石第一小学校の校庭で防球ネットの木製支柱が折れ、児童2名が死傷する大変痛ましい事故があった。

市長はこれまで市民に対し、どのような説明をしたのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕市民の代表である市議会議員に対し全員協議会を開催し、「安心・安全であるべき学校で絶対にあつてはならない事故が発生した。一度とこのような事故があつてはならないとの思いから、教育委員会に事故調査委員会の設置を要請した。」との説明をさせていただいた。

〔質問〕今後の教育委員

会の対応について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕先日、第1回目の事故調査委員会の会議を開催したところであるが、事故調査委員会では、事故原因の究明と再発防止策について議論を行い、答申をいただくこととしている。

また、教職員対象の安全点検研修の実施や点検方法の見直しなど、答申を待たずに改善できる取り組みを進めている。

〔質問〕保護者説明会に市長、教育長の出席がなかったと聞くが、その理由を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕保護者説明会の目的は、学校が把握した事実を保護者に説明することである。

教育委員会と学校は、共に教育の振興を図る

目的を持つが、立場や役割は異なっており、保護者説明会の時点では、行政の代表が出席する段階にはなかったものと考えている。

〔質問〕再発防止に向けて、7月までに各学校の安全担当教員を対象にした、学校設備の安全点検の研修を実施することだが、これは1校につき1名の教員を対象とするのか。

〔答弁〕〔教育長〕法の定めにより、現行法では学校施設設備などの安全点検の責務を有するのは学校である。

学校からは管理職と安全担当教員の2名を要請し、幼稚園などからも園長や主任などに参加いただき、研修会を実施する予定で計画を進めている。

### 〔その他の質問〕

◎公立刈田総合病院に  
ついて

◎スパッシュランド  
しろいしについて

### 健康診査の受診率向上について

四 竈 英 夫



〔質問〕市民の健康と安全を守るため、各種検診・健康診査を実施しているが、国民の3分の1が「健康無関心層」といわれる中、本市の受診率を伺う。

〔答弁〕健康推進課長 令和2年度の受診対象者1万243名のうち受診件数は3千569件、受診率は34.8%である。

〔質問〕受診率の向上を図るための対策を伺う。  
〔答弁〕健康推進課長 未受診者に対する勧奨通知や40歳・45歳の方に人間ドックの個別通知を行い、受診率の向上を図っている。

◎介護予防センターの有効活用について

〔質問〕介護予防センタ

いわれている。

本市の現状を伺う。

〔答弁〕教育長 現在、ヤングケアラーに関する法令上の定義はないが、これまでに該当するような事例や学校からの報告はない。

〔質問〕個人の家庭内の事情には立ち入りくいとわすが、子どもたちの健全な成長のため、どのような対応が必要と思われるか伺う。

〔答弁〕教育長 家庭環境はさまざまで、プライバシーの問題には十分配慮が必要である。

一方で、子どもの学びを保障することは大変重要なことだと認識している。

支援が必要な子どもがいても、本人も周囲の大人も気づかない状況にもある。

小さなサインを見逃さず、相談窓口や福祉担当部署につなぐよう努めていきたい。

その他の質問

◎新型コロナウィルス感染防止対策について

### 学力向上マネジメント支援事業について

佐 藤 秀 行



〔質問〕教育改革3年目における市長の思いを伺う。

〔答弁〕市長 次世代を担う子どもたちが一人一人の個性や能力を伸ばし、将来自らの夢や志を叶える力を身に付けていけるよう、教育改革の歩みを止めることなく、教育委員会と共に力強く推進していきたい。

◎文科省特例校、教育課程特例校制度・通称英語特区について

〔質問〕本市の課題の一つに国語の読解力の低下がある。日本語教育の充実、国語の能力というものが学力向上、英語教育推進のためにも欠かすことができない

と考える。

このことに対する考えと取り組みを伺う。

〔答弁〕教育長 国語の読解力は、全ての教科の土台となる大変重要な学力である。

日本語教育の充実という観点からも、今年度より暗唱読本を活用した「美しい日本語」に慣れ親しむ活動の充実を図っていく。

また、インターネットなどでのデジタルデータから必要な情報を探し出す力「デジタル読解力」の育成にも取り組んでいく。

〔質問〕小学4年生から中学3年生まで、年間1千15時間の授業時数がある。週5日間のうち、6時間授業が4日、5時間授業が1日であり、児童・生徒だけでなく教員にとっても多忙

を極める一週間と考えるが、教育委員会としての考えを伺う。

〔答弁〕教育長 今年度、長期休業の一部を授業日に振り替えることを考えている。

通常日の学校教育活動にゆとりを持たせることで、児童・生徒と向き合う時間を確保し、学級づくりや放課後の生徒活動の充実、教員の研修や校務の時間の確保を図っていく。

◎オリンピック・パラリンピック教育推進事業について

〔質問〕ベラルーシ共和国との交流について進捗状況を伺う。

〔答弁〕市長 都市間交流については、新型コロナウィルス感染拡大により具体的な動きがでない状況にある。

引き続きベラルーシ大使館と調整を行い、幅広い分野での交流を検討していきたいと考えている。

### 災害ケースマネジメントについて

佐久間 儀 郎



見解を伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕災害

における被災者支援策については、関係部署のみならず、全庁的な応援を募り、通常業務と並行し、被害調査や各種支援制度の紹介、受け付けを行なってきたところであり、今後も被災者に寄り添った支援に取り組んでいく。

〔質問〕災害時には被災

者のニーズが多岐にわたることを想定し、住宅問題、生活面での課題が解決されない世帯への支援を、防災・住宅福祉・専門家などが連携し、関係機関が一体となった支援を実施すべきであると考えているが、このことに対する見解を伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕民間

の団体との災害協定についても、物資供給や家

屋の危険度判定など、さまざまな団体と締結し、有事の際に協力をいただいているところである。

〔質問〕災害ケースマネ

ジメントを整備していくためには、各専門分野を持つ多様な支援者が連携・協働する必要があり、民間を含むチームづくりを心がけることであると考えているが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕さまざま

な対応を行う必要があるこの制度において、自治体単位で導入するには多くのマンパワーが必須となる。

県内においても、仙台市などの実例を見ることもできるが、鳥取県などでは県域での取り組みとして捉えている。

よって、宮城県などい

ある程度の規模を持つ

た取り組みが、実効性を

持つ意味で有効ではな

いかと考える。

〔その他の質問〕

◎災害弱者の避難支援

について

〔質問〕

〔答弁〕

〔市長〕

本市の強

み・魅力である、南東北

3県の県庁所在地との

距離が50キロメートル

圏内であること、主要交

通網が整っていること、

自然環境・歴史・観光な

どに恵まれていること

などを全面に出してPR

していきたい。

また、国や県、本市の

立地企業などとより一

層の親密化を図り、業

界情報の収集による企

業訪問を試みていきたく

と考えている。

◎地域づくり計画「まち

づくり宣言」について

### 工業団地造成と企業誘致について

角 張 一 郎



状と課題を反映した内容となっており、地域の方々自らが、地域の課題を解決しようとする、強い意気込みを感じている。

〔質問〕地域づくりについての見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕地域力の向上は、まちづくりの基本的な視点の一つであり、非常に重要であると考えている。

地域力の向上を図る

ためには、地域住民が主

体となって、地域内で話

し合いの場を持ち、この

地域でどのように暮ら

していきたいのかを考

え、その実現のために何

をすれば良いのかを決

め、実行することを積み

重ねていくことが必要

であると考えている。

それを支援するため

に、まちづくり交付金や、

今後創設する新交付金

制度を活用していただき、

地域の未来像を實現して

いただきたいと思います。

〔質問〕26ヘクタールの

工業物流団地の答申を

受け、どのような将来

像を描いているのか伺

う。

〔答弁〕〔市長〕答申を

いただいた工業物流団地

については、新たな交通

の要衝となるスマート

インターチェンジの効果

を最大限活用し、雇用

者をより多く確保でき

る製造系の大企業を核

に、関連するサプライヤ

ーも誘致することで、市

民の働く場の創出と、少

子高齢化の抑制が図ら

れることが理想である。

〔質問〕今後の企業誘致

活動に対する見解を伺

う。

〔答弁〕〔市長〕本市の強

み・魅力である、南東北

3県の県庁所在地との

距離が50キロメートル

圏内であること、主要交

通網が整っていること、

自然環境・歴史・観光な

どに恵まれていること

などを全面に出してPR

していきたい。

また、国や県、本市の

立地企業などとより一

層の親密化を図り、業



### ヤングケアラーの支援について

佐藤 龍彦



〔質問〕ヤングケアラーとは、通学や仕事の傍ら、障害や病気の親や

祖父母、兄弟などの介護や世話をしている18歳未満の子どものことで、介護などのために学業に遅れが出て、進学や就職を諦めたりするケースもある。

過度な負担は、児童労働問題といっても過言ではないと指摘する声さえある。

本市の各小・中学校で実施している学校生活アンケートに、ヤングケアラーの実態を把握するための項目を入れられないか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕ヤングケアラーに対する法令上の定義はないが、ヤング

ケアラーと呼ばれる状態の中で、学ぶ権利や、時には生存権さえ脅かされるケースもあり、非常に憂慮している。

現在実施している学校生活アンケートを有効に活用し、定期的に子どもたちの暮らしなどを調査していくことが重要と考える。

国もヤングケアラーの定義などについて、検討中との情報もあることから、それらを参考に、ヤングケアラーといわれる状況の把握について、学校生活アンケートに不備があるのであれば、変更することも含め総合的に検討していきたい。

〔質問〕今後、ヤングケアラー支援にどのような取り組みを考えなのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕教育委員会としては、これまで以上に学校と綿密な情報交換をしながら実態の把握に努め、できるだけ早期に憂慮すべきケースに対応していきたい。

また、教育委員会、学校だけで完結する問題ではないため、福祉分野とも協議、連携しながら、今後の対応を検討していきたいと考える。

現実には、市内において、ネグレクト、児童虐待と思われるような事案も起きており、市の福祉分野とも連携しながら、場合によっては児童相談所に一時保護するというようなケースも考えられる。

教育委員会としては、子どもたちの権利侵害に当たらないよう、今後もしっかり取り組んでいきたいと考える。

〔その他の質問〕  
◎ スパッシュランド  
しろいしについて

### ふるさと納税について

菊地 忠久



〔質問〕今年度、「ふるさと納税推進室」を設置したことになる、返礼品充実のための取り組みや効果について伺う。

〔答弁〕〔市長〕5月末までに24事業者を訪問し、新たな返礼品が随時追加され、受け入れ額も増加している。

新規事業者の開拓も行なっており、今後市内事業者などに積極的に働きかけていきたいと考える。

〔質問〕返礼品充実の他に、寄附金額を増額させる取り組みを伺う。

〔答弁〕〔市長〕さとふる、楽天、ふるさとチョイスに加え、6月からふるなびの取り扱いをスタートし、ポータルサイトを

拡充した。さらに、ホームページを充実させるとともに、6月からSNSを活用した情報発信を開始するなど、新たな取り組みを進めている。

今後ふるさと納税の推進に力を尽くしていきたい。

〔質問〕個人事業者や中小零細企業にとっては、金銭的な面などから新商品開発が難しい場合がある。

返礼品開発、磨き上げにかかる経費の一部を補助する事業を行うべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕ふるさと納税に特化した新たな事業については、経費率も踏まえた検討が必要となることから、今後、企業版ふるさと納税の取り組みと併せた検討

を行なっていくたいと考えている。

〔質問〕補助事業を行うことで、参入への障壁を取り払う役割を果たすと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕新商品をふるさと納税の返礼品として選んでいただけのような支援ができればと考えている。

本市はスイーツ系の返礼品が人気であるが、人気のある分野を積極的に研究していただければ、相乗効果として市としても応援でき、事業者の売り上げの増加にも寄与できるのではないかと考える。

さまざまな情報交換をさせていただきながら、市としてもできる支援策を今後検討していきたい。

〔その他の質問〕  
◎ 公立刈田総合病院について  
LINEによる情報発信について  
◎ 新型コロナウイルス ワクチン接種について

# 4月臨時会

第448回市議会臨時会が、令和3年4月28日に開催されました。

市長提出議案は、人事1件、専決9件、予算3件の計13件でした。

全ての議案は全会一致で原案のとおり同意・承認・可決しました。各議案の内容は次のとおりです。

なお、意見(賛否)が分かれた議案はありませんでした。

## 人事

4月臨時会において、次のとおり選任することに同意しました。

### 〔固定資産評価員〕

やんべ ひでお  
山家 英男 氏



## 4月臨時会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第33号	固定資産評価員の選任について	同意
第34号	専決処分の承認を定めることについて(専決第2号)	承認
第35号	(白石市市税条例等の一部を改正する条例)	承認
第36号	専決処分の承認を定めることについて(専決第3号)	承認
第37号	(新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例)	承認
第38号	専決処分の承認を定めることについて(専決第4号)	承認
第39号	(健康保険法第3条第13項に規定する電子資格確認の運用開始に伴う関係条例の整理に関する条例)	承認
第40号	専決処分の承認を定めることについて(専決第5号)	承認
第41号	(白石市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例)	承認
第42号	専決処分の承認を定めることについて(専決第6号)	承認
第43号	(令和2年度白石市一般会計補正予算)	承認
第44号	専決処分の承認を定めることについて(専決第7号)	承認
第45号	(令和2年度白石市水道事業会計補正予算)	承認
	(令和2年度白石市下水道事業会計補正予算)	承認
	(令和3年度白石市一般会計補正予算(第2号))	承認
	(令和3年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	承認
	(令和3年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号))	承認

**9月定例会は、9月6日(月) 午前10:00開会予定です**

インターネットで議会中継や録画映像の視聴もできます。

- 4月臨時会の傍聴者数 1人
- 5月全員協議会の傍聴者数 5人
- 6月定例会の傍聴者数 12人
- 中継・録画視聴者数 2,383人 (4月～6月)

**白石市議会会議録を公開しています**

[白石市議会 会議録](#) [検索](#)

市議会のホームページに会議録を公開しております。キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。どうぞご覧ください。

議会広報委員会 委員

委員長	四電	英夫
副委員長	平間	知一
委員	高子	秀明
委員	佐藤	龍彦
委員	伊藤	勝美
委員	高橋	鈍齋
委員	大森	貴建
委員	森	建人
委員	角張	一

**編集後記**

時の経つのは早いもので、令和3年も既に折り返しを過ぎました。

この半年を振り返りますと、福島県沖地震により甚大な被害が発生し、また、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い「まん延防止等重点措置」が適用され、飲食店などに対し営業時間の短縮が要請されました。

一方で、主要国に比べ遅れていたワクチン接種が開始され、コロナ収束への期待感が高まっています。

市議会議員の任期も折り返しを迎えました。残す任期も全力で議会活動を務め、市議会だよりを通して議会情報を発信してまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。

議会広報委員会 森 建人